



愛岐ヶ丘自治会支え愛の会 “笑顔”

住み慣れた愛岐ヶ丘でみんなで支え合い、安心して心豊かに暮らせるまちを！！



名古屋のベッドタウン 愛岐ヶ丘団地

- ・ 愛岐ヶ丘は昭和 5 2 年から 5 9 年にかけて名古屋のベッドタウンとして開発された住宅団地
- ・ 自治会は 5 5 年に発足
- ・ 全 8 4 3 区画 約 2 0 0 区画が宅地分譲 後は建売住宅
- ・ 3 0 代から 4 0 代の世帯が一斉に入居 高齢化率が一気に上昇する要因
- ・ 平成 2 0 年自治会「法人格」取得 「集会場」「ふれあいセンター」土地・建物が自治会所有となる
- ・ 平成 2 9 年（2017） 可児市に支え愛活動再申請 サロン・見守り、安否活動開始 現在 6 年目



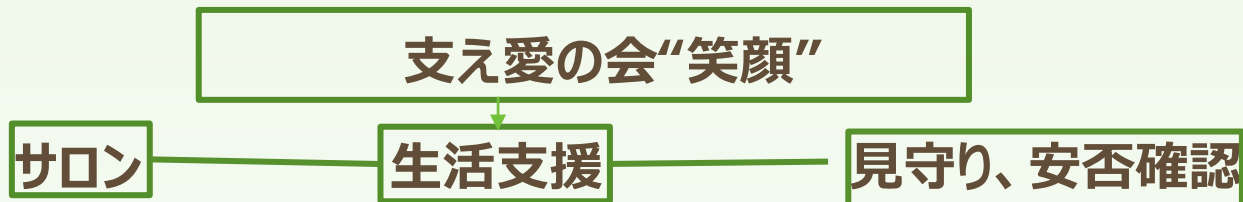
平成 3 0 年 1 1 月 **6 5 歳以上住民アンケートを実施**

誰もが住み慣れた地域で自分らしく楽しく生活していくために、住民がお互いに助け合う「共助」の仕組みが大切

- ・ **「地域で仲良く、住み心地の良い終の棲家」**
- ・ **「みんなで支え合い、安心して心豊かに暮らせるまちに！！」**

可見市高齢化率NO.1 50%超えました！！

- ふれあいセンターを拠点に活動



3つの柱

平日の午前・午後2名のスタッフが常駐。
野菜販売・本の貸出・生活支援の受付など行っています。



【サロン活動】

①支え愛の会・・月～金 笑顔で歌おう・集いの会・健康吹矢・簡単おやつ・麻雀・囲碁・将棋

お花見フェス・クリスマス会・歴史講座・交通安全教室・演奏会など

②木曜ひろば・・月2回 ハンドメイド・映画 月1回土曜日 長時間映画会開催

月1回 おかずクッキング

楽しいことやりたいね！集まってワイワイやりたいね！自分の特技を生かしたい！

と思った人が一人また一人と集まって始まったのが サロン



＊ ＊自治会組織の丁目・組単位で進める地域活動

【生活支援】 お互いに気を使わないためにチケット制にして実施

- ①簡単な家事支援…可燃ごみ出し・資源ごみ回収・家具の移動・修理
- ②病院代行・買い物代行…スタッフが二人一組で買い物に行く。薬だけを貰いに行く。
- ③移動支援…社協の車を借用して毎週火曜日実施 登録者24名 スタッフ14名
西可児駅周辺の医療機関・スーパー・銀行・西可児駅等 玄関から目的地までの送迎
- ④その他…花の水やり・部屋の掃除・庭木の剪定
パソコン操作等



＊ ＊自治会組織の丁目・組単位で進める地域活動

【見守り・安否確認】

①組に1人以上のスタッフを置く

②日常生活の習慣を知り、異変が無いか見守る。

新聞や郵便物が溜まってないか。雨戸の開閉がなされているか。等

③月1回 支え愛カレンダーを配布しながら、出来るだけ声掛けをして、様子をお聴きする。

④月1回 スタッフに報告書を提出してもらう。



団地内53組を60名のスタッフで見守り活動を行っている。

高齢化が進む中で皆が危機感を持っている・・・

「地域を住みやすくしたい」 「出来ることを負担なくやる」

- ・ 誰もが対等
- ・ 年齢、性別、経歴等関係ない
- ・ 知り合いを増やす
- ・ 気軽に声を掛け合う関係
- ・ やれることを、やれるときに
- ・ 役割はあるが、強制されない
- ・ 気軽に言える関係

みんなで一緒にやれば、何か出来る!!
愛岐ヶ丘自治会支え愛の会 “笑顔”